



## 外国出張報告書

平成 26 年 12 月 22 日

1. 出張国名        タイ
2. 出張月        平成 26 年 11 月
3. 出張目的        チーク人工林材の価値付加を目的にした材質研究課題に関する  
現地視察ならびに課題構成の協議：C

#### 4. 成果の概要

タイ国内において、森林局がチーク人工林に設定した試験プロットを視察した。複数地域のクローン試験林として 100 クローンをランダム配置で植栽され成長量が継続して測定されている。また、間伐区と無間伐区をセットにした間伐試験プロットも複数設定されており、同様に成長量が定期観測されている。遺伝的背景が異なる試料木、あるいは施業法が異なる試料木が既に育成されていることから、チーク人工林材の材質を測定するにあたって、遺伝の効果あるいは施業の効果について基礎的研究が行える可能性が見いだされた。

森林局担当者との意見交換では、クローン試験地を用いた材質の遺伝的解析、あるいは間伐試験地を用いた間伐の材質に及ぼす影響の解析、の 2 点が研究課題の候補となりうるとの結論を得た。ただし、これらの試験地で伐採が可能であるかどうか不明なため、試料については引き続き検討することになった。研究で対象とする材質形質についても検討し、材の用途を限定せずに一般的な用途を想定して測定する形質を選定することになった。